

旧東海道線(引上げ線)線路下トンネル跡

1921(大正10)年に現在のJR東海道線が完成するまで、かつての東海道線は現在の名神高速道路の辺りを通っていました。旧山科駅(現在の小野小学校北側付近)から旧大谷駅(現在の京阪大谷駅付近)にかけて、上り(東京)方向に向かって急な上り勾配が続いていました。そして、大塚地域には「大塚信号所」が設置され、スイッチバック式の引上げ線が設けられていました。

妙見寺の道路を挟んで南側にある大鳥居の奥の東側(左側)に、煉瓦づくりの壁面がありますが、これは引上げ線の線路下にあったトンネルの入口跡と伝えられており、当時の痕跡を残す貴重な物といえます。



【線路下にあったトンネルの煉瓦壁面の一部】

この案内板は、区民参加により作成した冊子『京都山科東西南北 ～区民が選んだ魅力を訪ねて～』に掲載した魅力を紹介するものです。

その他の魅力については、山科区役所のホームページ <http://www.city.kyoto.lg.jp/yamasina/index.html> から「京都山科東西南北」をご覧ください。

山科魅力展開プロジェクト
山科区役所区民部まちづくり推進課
平成23年3月